
僕のはなしを、きいてくれる？ episode002

夏山 僕

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕のはなしを、きいてくれる？ episode002

【コード】

N9333N

【作者名】

夏山 僕

【あらすじ】

僕に話しかけてくる「僕」の正体は……。第二話

年末年始に向けて、食料でも買おうと、僕は上野に行った。

アメ横って正式には「アメヤ横丁」って言うんだ……。

なんてアメ横の入り口の看板を見てみると、

人ごみの中から誰かが声をかけてきた。

「ねえ、ねえ、おじさん。僕のはなしを、きいてくれる？」

僕ってそんなに、一目見ておじさんってわかるような格好しているのかな。

なんて思いながら声がした方を見た。

ざっと見た感じ、僕の事をみている人はいなさそうだった。

魚屋の軒にぶら下がっている、新巻鮭を除いては……。

「そうそう。僕だよ、おじさん。ロープでぶら下がっている鮭の中で一番小さい僕。」

『やっぱり君だったのか……。』

話を聞くのはいいのだけれど、僕は今まで鮭と話した事がないから、自信がないなあ。』

「いいんだ。僕の話だけを聞いてくれれば。」

「ところでおじさんは、僕のことをどう思う？」

『そつだなあ……。美味しいと思うよ。』

「鮭って、焼いても、生でも、加工されてても、美味しいよね。」

「そつなんだ。僕ってこう見えて、けっこう人気者なんだ。」

「回転寿司でも常に人気の上位にいるし、」

「魚屋でも、甘塩とか生食とかいろいろ種類もあるしね。」

「値段は鯖と比べたら安くはないかもしれないけど、」

「鯖と鮭とどっちが好き？って聞かれたら、7割ぐらいの人は鮭っていうんじゃないかな。」

『確かに僕も、鯖の味噌煮とか、塩焼きとか大好きだけど、』

「どっちが好きか聞かれたら鮭って答えるかも。」

「そつでしょ。だから僕は人気者だって言ったでしょ。」

『でもね。ちょっと思ったことがあるんだけど……。』

「なに？言ってみて。」

『カレーとかラーメンとかが大好物っていう人はけっこう聞くけど、

「僕の好物は鮭です。365日×3食＝1年で1095食、鮭でも大丈夫。」っていう人は

聞いたことがないんだけど……。」

「うん……。実はそうなんだ。」

要するに僕は、皆から好かれてはいるけれど、それ以上にはならない。

まるで友達以上、恋人未満みたいな存在なんだ……。」

『そっか……。その気持ち、僕にもよーーーーっくわかる。』

今までだって「あなたはいい人なんだけど……。」って何べん言われたことか……。」

「ハイお兄さん！買うの？買わないの？そんなにじーっと見て。」

お兄さん！もしそんなに欲しかったら、安くしてあげようか？その小さめの新巻鮭。」

魚屋の店員さんが、ガラガラ声で話しかけてきた。

「あ、す、すみません。僕、一人暮らしだからこんな大きいの、

いや、新巻鮭にしては小さいかもしれませんが、買っても食べきれないので、いいです。」

「あ、そうなの？じゃあ家族が出来たら、その時は絶対ウチで買ってよ！お兄さん！」

「は、はい。ではお邪魔しました。」

しかし、友達以上、恋人未満か……。

鮭男子。今風に言うと鮭男子かもしれないな……。僕は。

それにしても僕はお兄さんに見えるのだろうか……。それとも……。

「ハイお姉さん！安いよ！どう！買っていかない？」

さっきの店員さんが70歳ぐらいのおばあちゃんに話しかけていた……。

僕は苦笑いをしながら、アメヤ横丁の人ごみの中に再び入っていった。

U
U
U
U
U

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9333n/>

僕のはなしを、きいてくれる？ episode002

2010年10月12日02時17分発行